

1 学年 2 学期課題

絵画表現：西洋美術史（中世まで）とルネサンス

年 組 番 名 前

学習のの目当て 西洋美術史やルネサンスについて学び美術や、美術文化に対する関心を高めることができる。

今回の単元では絵画（かいが）表現について学びます。絵画は西洋に限らず世界中にあります。その中でも発展の著しい西洋絵画の美術史を通して絵画について知ってもらおうと思います。

1・西洋美術史

原始の美術（紀元前 4500～前 3200 年ころ）

美術の始まりはいつなのか？は今は知ることが出来ませんが、現存する最古の絵画は約 2 万年前に描かれたとされる①ラスコーの洞窟壁画や②アルタミラ洞窟壁画があります。このように 2 万年前には人類は絵を描くことをしていたようです。



①ラスコーの洞窟壁画 ←



②アルタミラ洞窟壁画 ←

メソポタミア / エジプト美術（紀元前 3500～前 330 年ころ）

エジプト文明、メソポタミア文明など文明が発展すると共に美術や美術文化が発展したようです。この頃の人物画の特徴としては頭や足は横を向き、胸や目は正面から見た形で描かれています。



①ツタンカーメンの黄金のマスク ←



④死の書 ←

ギリシャ美術（紀元前 1000～前 1 年ころ）

ギリシャ美術は人体の美と理想を追求し表現しました。この時代に人体の表現が大きく発展し、のちの時代に大きな影響を与えました。



剣闘士



⑤サモトラケのニケ ←



⑥ミロのヴィーナス ←

裏に続くよ

ローマ美術 (900~1200 年ころ)

ローマ美術はローマ帝国の成立以降の美術や美術文化のことを指します。

ローマ帝国がギリシャを征服した際にギリシャ美術のレベルの高さに衝撃を受け、ローマ美術ではギリシャ美術を真似した「**ローマン・コピー**」と呼ばれる作品が多く作られるほどでした。

ギリシャ美術の影響を受けた後に独自の様式を発展させました。建築においては厚い石壁や小さな窓が特徴的なローマ風の様式の**ロマネスク様式**や、アーチを用いることで巨大な建造物が可能となった**ゴシック様式**などが確立され、神殿、劇場、闘技場、凱旋門など多様な建築物が多く建てられました。

この時代の美術の特徴はローマ帝国の皇帝の肖像など、**ローマ帝国の繁栄や栄光を賛美した作品が多いという特徴があります。**



⑤アウグストゥス立像 (ローマ帝国の皇帝だった人) ↑



⑧コロッセオ ↑



⑨デュオニソスの秘儀

2・ルネサンス (資料集 p102~105)

ルネサンス (1400~1600 年ころ)

それまでのヨーロッパでは、人々は教会から厳しい制約を受けた生活を送っていましたが、商工業が発展し経済的に豊かになると美術を含めた様々な文化が発展し、ルネサンスという芸術運動が起こりました。

クイズ

ルネサンスとは日本語で「再生」という意味です。はたして、何を再生しようとしたのでしょうか？これまで学んだ歴史を基に予想してみましょう。

A. ルネサンスとは

を再生しようという文芸復興運動です。

ルネサンスはイタリアの⑩**フィレンツェ**を中心に広まり、芸術家は古典や自然科学の研究を進め、遠近法や解剖学によって自然や人間のあるがままに表そうとしました。



⑩イタリア・フィレンツェ



⑪今のバチカン市国 (フィレンツェ)

3・ルネサンスの三大巨匠

ルネサンスの頃には時代を代表する3大巨匠と呼ばれる3人が居ます。資料集 P102~105 を参考に美術、美術文化の知識を学びましょう。

メディチ家

ルネサンス期のイタリア・フィレンツェを中心に財を成した銀行家、政治家の一家。芸術家を**パトロン** (芸術を作るためにお金などを支援してくれる人。スポンサーのようなもの) として支援し、芸術面の発展に貢献した。



⑪メディチ家の家紋



コジモ・デ・メディチ